

第3回南区自治協議会 会議概要

日 時 令和2年6月24日（水） 午後2時～午後3時20分

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
 - 2 南区自治協議会委員委嘱状交付
 - 3 区長あいさつ
 - 4 第2回全体会（書面開催）の結果について
 - 5 部会報告
 - 6 報告
 - (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止における新しい生活様式について（地域総務課）
 - (2) 「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」について（健康福祉課）
 - (3) その他
 - 7 次回全体会の日程について
7月29日（水） 南区役所 午後2時から
 - 8 閉会

事前配布資料

- 資料1 第2回全体会（書面開催）の結果について
資料3 「新しい生活様式」実践のお願いのチラシ

当日配布資料

- 資料2-1 南区自治協議会第1部会 会議概要
資料2-2 南区自治協議会第2部会 会議概要
資料2-3 南区自治協議会第3部会 会議概要
資料4 避難所運営マニュアル（新型コロナウイルス等の感染症対策編）
その他資料 「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」の記録カード

出席委員： 斎藤栄樹委員，栗田修二委員，須戸官一委員，久保安夫委員，
小林 誠委員，川村朋生委員，有田正己委員，本永裕子委員，
鞠子幸一委員，富井 敦委員，笹川和代委員，渡邊直樹委員，
今井 剛委員，中丸ちえ子委員，渡邊喜夫委員，小嶋ノリ委員，
大那 孝委員，町屋参吉委員，山宮勇雄委員，鈴木照子委員，
松尾正行委員，田中容子委員，阿部隆一委員，和泉美春委員，
小田信雄委員 以上25名

欠席委員： 梅津繁明委員，長澤文彦委員，森澤達矢委員，中野裕子委員，
早見真由美委員

事務局：（南区）五十嵐区長，水野副区長，内藤区民生活課長，佐藤健康福祉課長，
石崎産業振興課長，赤塚建設課長，川村味方出張所長，
登石月潟出張所長，川崎南区農業委員会事務局長，
鈴木南区教育支援センター所長，和田白根地区公民館長，
鈴木地域総務課長補佐，藤村地域総務課長補佐，地域総務課職員

報 道 1名（新潟日报社）

傍聴者 2名

(午後2時00分)

1 開会

○事務局（鈴木地域総務課長補佐）（配付資料の確認及び転入所属長の紹介）

○議長（小田会長） 2月26日に最後の自治協議会を開催して以来、ちょうど4か月ぶりの開催である。委員の皆様においてはお元気でお集まりいただいたこと、うれしく思うし、感謝を申し上げる。そして、本日また新たに委員に着任された方も、お元気にお迎えすることができた。これもまた、うれしく思っているし、ご活躍をご祈念申し上げます。

2月26日冒頭のごあいさつに100年前のスペイン風邪のことをお話ししたやに記憶している。正直、私もあの時点ではこんなに大きな災害に、深刻な災害に広がってこようとは思ってもよらなかった。少しは落ち着いたやに見えるが、振り返ってみると、さまざまな面に大きな痛手と爪痕を残している。まさに日本中、世界中を揺るがした災害である。一刻も早く、この災害を克服し、痛手を治し、未来へ向かっていかなければいけない。今、こうやって自治協議会を開催することができたことをよろこぶと同時に、決意を新たにしているところである。

私は、新潟市8区自治協議会会長会議の会長も仰せつかっている。この4か月間、幾つかの区の会長からさまざまなご相談やら、あるいはお前のところはどようする、どんな状況だという問い合わせをいただいた。どの会長も地域のコミュニティをはじめ、さまざまな団体の皆さん方が四苦八苦をして、そしてじっと声を殺して閉じこもっている。中には、どっちみち何をやっても変わらないのだから、コロナウイルスにさえかからなければ、面倒くさい今までの活動など、あるいは市との協働などしなくてもいいのではないかという極端な意見まで出るようになってしまった。大変困っている。合併後、地域のコミュニティを作り、新潟市との協働のシステムを着実に行政と一緒に積り重ねてきた私どもにとっては、この言葉ほど、痛いものはない。何とか今まで培ってきた私たちのまちづくりのこの熱意と、そして地域の融和を新たな面も加えながら、さらに積み重ね、新しい生活スタイルのもと、地域を作り直していきたいものだと思っている。

本日のこの会場の設営のしかた、課長はじめ懸命な努力の結果、このスタイルでさせていただいた。一瞬、会場にお入りになったとき、戸惑った方も大勢いらっしゃると思うが、現状のこのスペースの中で60人近い委員、説明員の皆さん方を収容しようとする、このスタイル以外、ないという結論に達したわけである。今後の状況にもよるが、今しばらく、このスタイルで我慢をいただかなければいけないなど。こんなことも思っている、ご了承いただきたいと思っている。隣の委員と少し耳打ちをしたり、協議をしたりすることも大事な委員同士のコミュニケーションではあるが、少し無理な時代であろうかと思う。いずれにせよ、さまざまな困難が待ち受けているが、私ども、自治協議会委員及び各地域において仰せつかっている役割をきちんと達成し、果たし、豊かで健康な活力ある新潟市南区、そして、おのおのの地域づくりに貢献できればと思っている。大変困難なときにこうしておそろいいただいたこと、重ねて感謝申し上げます、令和2年度6月の定例会をただいまから開催する。

欠席者の報告

傍聴者の報告（所定の手続きを経て、傍聴していることを報告）

2 南区自治協議会委員委嘱状交付

○議長（小田会長） 次第第2、南区自治協議会委員委嘱状の交付について、事務局どうぞ。

○事務局（水野副区長） 委嘱状の交付に入る。恐れ入るが、中丸委員は右前のほうにお進みいただきたい。

五十嵐区長から中丸委員へ委嘱状の交付を行う。

○五十嵐区長 委嘱状、中丸ちえ子様。南区自治協議会委員に委嘱する。委嘱期間は、令和3年3月31日までとする。令和2年5月1日、新潟市長中原八一。

○議長（小田会長） ただいま委嘱状の交付を受けられた新委員の中丸委員から一言、ごあいさつを頂戴する。中丸委員どうぞ。

○中丸委員 南区連合保健会から参った中丸ちえ子です。こういった自治協議会は初めてなので

勉強させていただきたいと思う。よろしく願います。

○議長（小田会長） 以上で、南区自治協議会委員委嘱状交付を終わる。

3 区長あいさつ

○議長（小田会長） 続いて、次第第3、五十嵐区長からごあいさつをお願いします。

○五十嵐区長 改めてごあいさつさせていただく。まず、はじめに、ご出席の委員の皆様におかれては、区民と行政の協働の要として、これまでご尽力されてきたことに対してお礼申し上げます。これまで、コロナの影響で皆様となかなかお会いすることができなかったが、今日、ようやくこのように自治協議会が開かれたことに対して、私もごあいさつできることをありがたく思っている。

先ほど、会長が言われたとおり、皆様におかれては、南区のまちづくりに熱意を持って取り組んでいただいたことに、改めてお礼申し上げます。

自治協議会のお話をさせていただくと、現在、南区の自治協議会は7期目に入っている。6期目の初年度、小田会長を中心に部会の役割検討特別部会が設置されて、ほかの区に先駆けて、区の組織目標の検証を部会を中心に実施していただいたり、自治協議会の提案事業に、皆さんご存じのとおりまちづくり活動サポート事業を導入するなどの改善に取り組んでいただいた。特にまちづくり活動サポート事業では、臼井地区コミュニティ協議会のうすい大壁画、うすいっ子樽タタキ復活、大通地区のイルミネーション事業、白根コミュニティ協議会の旧白根配水塔文化財登録事業、庄瀬地域コミュニティ協議会の史跡文化にかかる取り組みなど、地域の皆さんが協力し合って、地域のにぎわい、活性化、地域文化の掘り起こしに資する事業に取り組んでいただいたことについて、ありがたく思っている。

昨年、白根商工会が90年ぶりに仮装行列等を復活した白根子行進曲、全国放送にも取り上げていただき、この南区のPRに大いに貢献していただいた。これまでの取り組みに対して、厚くお礼申し上げます。区役所としても、引き続き、自治協議会の皆様と連携を図り、区の課題解決・活性化に取り組んでいきたいと思っているので、ご協力をお願いします。私の話になるが、先ほど言ったとおり、昨年1年間、南区の産業振興課長としてやってきた。商業、農業、観光の担当をしていた。その間、この自治協議会にも、今年、中止になってしまったが、昨年は大風合戦のご報告、先ほど言った白根子行進曲だとか、さまざまなイベントのPR事業もお話しさせていただいた覚えがある。その際、南区を住みよいまちにしたいとか、盛り上げたいという思いでやってきた。今年度4月からは、皆様方のお力添えをいただきながら、区長として頑張っていくので、よろしく願います。

南区はご存じのとおり、大風合戦、笹川邸、角兵衛獅子等の伝統文化があるし、果樹をはじめとした食と花といった豊富な農産物にあふれている。私としては、この魅力にさらに磨きをかけて、地域の活性化、交流人口の拡大に努めていきたいと思っている。また、8区の中で唯一、鉄道のないまちである。公共交通の充実、信濃川、中ノ口川に挟まれた地域なので、洪水など自然災害への取り組み、少子高齢化、農業をはじめとした産業の活性化、それから若い人たちに白根のまち、南区のまちにいつまでも住んでいただきたいなという思いを持っている。引き続き、自治協議会、コミュニティ協議会、各団体をはじめ、区民の皆様と知恵を出し合いながら、協働のまちづくりを進めていきたいと思っている。

そして、区ビジョンの将来像である「大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち」の実現を目指して頑張っていきたいと思うので、ご支援、ご協力をよろしく願います。

先ほど、会長からもコロナの話が出たが、コロナの影響で、南区でもイベントの中止、事業ができないような状況が続いている。特にこの6月のはじめに白根大風合戦が中止になった。私は、3月31日、南区の産業振興課長として最後の日を迎えたときに、今日、ここにいらっしゃる阿部さんが事務局長である白根大風合戦協会の臨時理事会が開催された。その場に私は産業振興課長として、新潟市の感染状況、それからこれから起こるであろうリスクなど、お話をさせていただいて、その日、3月31日に協会のほうで大風合戦中止という決定をし、その場面に私は立ち会わせていただいた。その際、皆さん、苦渋の決断をされている結果で残念に思っているところを私

は目の当たりにして、今でもその残念な姿が目に残っている。翌4月1日、市長から区長の辞令をいただき、残念ながら白根大凧合戦が中止になるというお話を市長のところにさせていただいたのが、区長としての最初の仕事であった。その後、皆さんご存じのとおり、4月、5月、ほとんどのイベントや自治協議会も開かれずに中止となってしまい、残念に思っていた。しかし、今日ようやく自治協議会を開催することができたし、市内の感染者も先週1件の報告があったが、それまでの間、1か月以上、感染者が出ていなかった。これは皆様方の外出の自粛を徹底していただいたことや、事業者の皆様においては休業や営業時間の短縮に取り組んでいただいた、そのご協力による結果だと思っている。新潟市の感染の第一波は収束につながったと思っているが、それについては、この場をお借りしてお礼申し上げる。しかし、自粛の段階的な緩和というものが行われはじめた。先週19日から県外をまたぐ自由な往来が可能となったので、油断できない状況は続いていくかと思う。新潟市では、新しい生活様式を前提に感染拡大防止と社会経済活動維持の両立の取り組みを進めているので、皆様方におかれても、引き続き、新しい生活様式に対応した取り組みを行っていただきたいと思っている。

コロナウイルスについては、長丁場になると思うが、今後も気を緩めることなく、取り組んでいくので、ご協力をお願いします。

最後に、コロナの影響でさまざまなイベントが先ほどから中止になったというお話をさせていただいたが、本来であれば凧合戦の初日である6月4日に南区において疫病退散を願ってのアマビエ凧が揚がった。凧合戦協会、白根高校生、市民の方々が企画したものである。この後、ご紹介あるが、地域おこし協力隊の前田さんの企画でもある。こういうニュースも出て、全テレビ局、または新聞でも報道させていただいた。今日来ていただいている日報さんには、いろいろ掲載していただきお礼申し上げます。また、今週月曜日の日報に、今年、中止になった南区白根の大凧で、市民らがアマビエ凧を作り、市民を元気づけていることに触発されて、貴金属細工加工のお仕事をされている方が、新型コロナウイルスに負けない姿勢をジュエリーという形にして作ったという記事も載っていた。ほんのちょっとした明るい話題がいろいろな人に勇気を与えているのだなと思っている。

昨日の新聞でも、第一印刷所が南区のお土産コンテストで入賞した凧の絵柄の折り紙を保育園に寄附したということも載っていた。なかなか明るい話題がない中で、南区からこのような明るい話題を情報発信できたことは、本当にありがたく思っている。少しずつこのような明るい話題が出てくることで、皆様の通常の生活が戻ってくることを期待している。皆様方におかれては、コロナに負けずに、この先、地域における明るい話題をご提供いただけることを願い、私のあいさつとさせていただきます。本日は、よろしくをお願いします。

○議長（小田会長） 区長から就任のあいさつを兼ねて頂戴した。今後の五十嵐区長の活躍を私どももご祈念申し上げます。

また、次回以降の自治協議会においても、区長とのさまざまな観点から意見交換できるかと思うので、皆さん方も忌憚のないご意見を区長に対して頂戴したいものだと思っている。

4 第2回全体会（書面開催）の結果について

○議長（小田会長） 続いて、次第第4、第2回全体会（書面開催）の結果について、協議に入る。第2回書面会議の結果については、事前に送付した資料1に記載のとおりである。ご覧いただき、何か不明な点、あるいはご質問等があれば手を挙げていただきたいと思う。たくさんの方から意見を頂戴してありがとうございました。ないだろうか。

○阿部委員 一番最後の10番のピエールエルメとル レクチエのコラボについて質問をさせていただいたが、具体的な成果としてのことが載っているわけだが、これは説明を受けており、私の知るところである。そのときに言われたことは、これを広告効果に直すと、広告の費用と考えると大変大きな費用対効果が出ているわけだから、この事業は成果があったというようなことも報告を受けていたが、ここで私が質問した意図は、ル レクチエの広告効果によって、出荷量がどの程度増えたのか、あるいは金額ベースでどの程度増えたのか、そういう具体的などころがあるかどうか、そのところを確認したかったのだが、その点はいかがか。

○議長（小田会長） ご質問の意味はおわかりかと思うが、産業振興課長どうぞ。

○石崎産業振興課長 このピエールエルメとル レクチエのコラボについて、実際に出荷量に影響があったとか、そういったものについて、今、手元に資料はないので、その辺を確認し、再度ご報告させていただきたいと思う。

○議長（小田会長） 五十嵐新区長、この件について、何かご存じのことがあればどうぞ。

○五十嵐区長 昨年、担当課長をしていた。ル レクチエの出荷量というものが、正確に把握できていないというのが現状であった。ただ、この事業そのものについては、出荷量が当然上がればよろしいし、もう一つ目的としては、ブランディング事業によって、ル レクチエが少しでも有名な果物になって、担い手につながればなという思いが大きいものである。またはもう一つが、ル レクチエを切り口にして、産地のPRとか、農家の担い手育成につながっていければなというさまざまな目的もある。担い手育成については、ル レクチエに限らず農業全体が担い手不足になっているということもあるので、ル レクチエを切り口として、南区の農業を盛り上げていこう、それが目的である。最終的には、出荷量が増えれば、それは一番ありがたいが、なかなかちょっと把握は難しいかと思う。それに向けて、今年度もル レクチエの生産量が日本一を誇る南区なので、それを切り口として農産物をPRしていきたいという思いもあるので、その辺、ご理解いただければと思っている。

○阿部委員 今、説明を受けたが、これは当初から金額ベースの目標を立てなかったと理解してよろしいのだろうか。

○石崎産業振興課長 金額の具体的な数字というものは、おっしゃるとおり立っていないかと思う。今ほど、区長からも話し合ったように、ブランディングといった目的もあるということの目標だということで考えている。

○阿部委員 やはり今の資本経済の中で、担い手がいるということは、継続させるためには、当然、経済性が非常に重要なポイントになるかと思う。出荷量が増え、そしてそれが安定的に売り上げと利益につながっていくことで、農家が育っていくと。このブランディングという言葉ですべて終わらすのであれば、出荷は要するに二の次だということであれば、少し今の経済社会の中で、その発想は少し間違えているのかと、検証し直さなければいけないのではないかと考えるが、いかがか。

○石崎産業振興課長 ブランディングが最終的な目的ではなくて、委員おっしゃるとおり、それが経済活動につながっていくということが目的、目標になるかと思うので、その辺を踏まえて取り組んでいきたいと思う。

○阿部委員 そうであれば、なおさら当初から金額ベース、つまり現状はこの程度の金額で、そしてこの事業が終わった段階で、この程度まで上がったと。それは具体的に目標を立てて計画するのが当然だというふうに思うのだが、その点、この事業は終わったのでいいのだが、そういう視点を大切にしてください、やはり私たち経済活動の中で動いているものだから、ただ、ブランディングで有名になればいい、これが有名になればいいというだけの問題ではなくて、やはりそこには結果がついてくると。そういう計画の立て方をぜひしていただければと思うので、要望する。

○議長（小田会長） 阿部委員から貴重なご指摘を頂いた。ル レクチエのブランディング事業、3年目を迎えているが、当初から阿部委員のような指摘も頂戴していた。経済的な目標数値をいち早く設計し、農家、あるいは地域にその果実を還元すべきだと、こういう意見を頂戴していた。ご存じのように、ル レクチエのJAにおける出荷量と金額、そして加工用に仕向けた数量と金額は確定しているが、総量及び総販売金額はなかなか統計上、難しいところもあるやに聞いている。産業振興課のほうも、それらの実態をもう少しつぶさに調査していただき、できるだけ早く阿部委員の指摘に答えられるように努力をお願いしたいと思う。

ほかにどうぞ。それでは、書面開催の結果については、これで終わらせていただく。

5 部会報告

○議長（小田会長） 次第第5、各部会の報告に入る。部会における検討状況を各部長から順次、報告をいただく。すべての報告が終わってから、委員の皆さん方のご意見を頂戴する。

はじめに第1部会長の鞠子委員から報告を頂く。

○**鞠子委員** 第1部会においては、6月17日に今年度の第1部会で検証する南区の組織目標の項目を下記の4項目に決定した。1番目として、総合防災訓練の参加者数、2番目として、自主防災組織全23組織の訓練実施状況、それから、空き家相談会の回数、4番目として、区バス利用者数と乗合タクシーの利用者数について検証するという形に決定した。

二つ目として、毎年やっているが、第1部会の提案事業で、今年はコロナの関係で公共事業交通PR事業で実施していたバスの装飾という形は、夏休みはしない。代替の事業を検討することに決定した。次回は7月15日に行いたいと思っている。

○**議長（小田会長）** 続いて、第2部会長の笹川委員から報告をいただく。

○**笹川委員** 第2部会は6月11日に行われた。開会后、新しく委員になった中丸委員から自己紹介いただいた。今年度の南区組織目標の検証について、昨年同様、第2部会が担当する四つの項目を検証することになった。ミニドック型集団健診受診者数、地域の茶の間の設置数、子育て支援リーダーの数または勉強会の回数、障がい者の販売店舗数、この4点を検証することとなった。

また、第2部会提案事業の家族ふれ愛月間事業については、11月8日午後2時から開催予定の「ママをやめてもいいですか!？」の映画上映会とあわせて実施を検討していた監督の講演会は行わないことになった。コロナの影響でこの11月の映画上映会の開催も危ぶまれるが、とりあえず実施する方向で、人数等、全席使用することもできないかと思われるが、実施の方向で計画した。

あわせて、絵画・川柳展の画用紙等の各学校への配布について、各委員の分担を決めた。配布物を6月24日日本会議後に持って行ってもらうことになり、学校への依頼文、生徒あてチラシの確認を行った。作品を提出していただいた児童・生徒への記念品を、昨年度までのものとは別なものということで、今年度、家族ふれ愛月間のロゴシールを貼ったB5ノートに決定した。

出会いの場づくり事業については、事務局から委託業者が昨年までの過去3回同様、トアイリンクスに決定したという報告があり、次回部会から出席してもらうことになった。第1回目の出会いの場づくり事業において、カップルになられた方が、今年度結婚されて、ご出産を控えているという大変喜ばしい報告をいただいた。今年もそういうカップルが生まれるように、また企画をしたいと思う。

次回は、7月16日午後1時半からということで日程を決めた。

○**議長（小田会長）** 続いて、第3部会長の富井委員から報告をいただく。

○**富井委員** 第3部会は、6月16日開催した。内容としては、1番として、区の組織目標の検証についてということで、今年度、第3部会では民間等の協働により開発した新商品数、重要文化財旧笹川家住宅や、しろね大凧と歴史の館の入館者数だが、大凧の館に関しては展示を変えたということもあり、コロナもあるので今年はどうなるかということもあるが、項目としては、2点挙げた。

2番目としては、第3部会の提案事業だが、ファミリーダンスは12月19日を第一候補として開くことに決定した。親子農業体験事業だが、5月9日から予定していたが、新型コロナウイルスの関係で中止となったが、10月にもう一回、代替事業を計画してみようということになった。

その他としては、7月7日に次回、開催することに決まった。

○**議長（小田会長）** 続いて、広報部会の田中部会長から報告をいただく。

○**田中委員** 第2回広報部会は、本日13時より行った。概要としては、南区自治協議会だより第18号について、最終確認を行った。発行は7月19日の予定である。次回の広報部会は、9月30日に行う予定である。

○**議長（小田会長）** 今、第1部会から最後の広報部会まで、四つの部会の報告を頂戴した。この4部会の報告について、ご質問なり、ご意見があればご発言いただきたい。ないようである。次に移る。

6 報告

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止における新しい生活様式について（地域総務課）

(2)「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」について（健康福祉課）

○議長（小田会長） 次第第6，報告に入る。(1)新型コロナウイルス感染症拡大防止における新しい生活様式について，地域総務課から，(2)「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」について，健康福祉課から説明をいただく。最初に地域総務課から，報告をいただく。

○水野副区長 新型コロナウイルス感染症については，4月16日に政府が出した緊急事態宣言が新潟県を含む39県で5月14日に解除され，全国的には5月25日に全面的に解除されたところである。また先週の19日から県をまたぐ移動等も可能になったところだが，この間，委員の皆様におかれては，各種活動の自粛や全体会の書面開催などにご協力いただき，まことにありがとうございました。

また緊急事態宣言の解除により，さまざまな社会活動が再開されているが，新型コロナウイルスの脅威はいまだに完全に去ったわけではなく，引き続き，十分な注意が必要となる。

それでは，資料3に基づき説明させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため，三密の回避など，日常生活の中で新しい生活様式の実践のお願いになる。まず，(1)一人ひとりの基本的感染症対策である。感染防止対策の三つの基本は，身体的距離の確保，マスクの着用，手洗いである。人との間隔はできるだけ2メートル，最低1メートル空けるなど，記載の六つの項目の実践をお願いする。また，移動に関する感染対策としては，記載の四つの項目のとおりお願いしたい。

次に，(2)日常生活を営む上での基本的な生活様式である。まめに手洗い・手指消毒など，記載の六つの項目の実践をお願いする。

次に，(3)日常生活の各場面別での生活様式である。買い物，娯楽，スポーツなど，公共交通機関の利用，食事，冠婚葬祭などの親族行事ということでそれぞれ書かれているが，これらの項目の実践をお願いしたいと思う。なお，会食については，新しい生活様式に配慮しつつ，それぞれのお店でルール，ガイドライン等を作られていると思うので，そのルールに従ってお願いしたいと思う。

(4)働き方の新しいスタイルである。テレワークやローテーション勤務など，記載の六つの項目の実践をお願いしているところである。新しい生活様式の実践のお願いは以上となるが，新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため，休館していた市有施設の状況について簡単にご説明する。

市が所有する施設については，学校開放が7月1日（水）に再開する予定となっており，その他の施設はすでに再開しているところである。なお，地域の茶の間については，開催自粛は解除されたが，開催するかどうかは，それぞれの施設設置者の判断となる。施設の再開に当たっては，それぞれの業種ごとに策定されている感染拡大予防ガイドラインなどを踏まえて，喚起や消毒，入場制限をはじめとする人と人との距離を確保するなど，感染拡大防止策を最大限講じることを前提にしているので，施設をご利用される皆様におかれても，新しい生活様式に基づき，ご利用いただけるようお願いする。

次に，資料4をご覧ください。避難所運営マニュアルの新型コロナウイルス等の感染症対策編である。こちらのマニュアルは，避難所開設に向けた事前準備から運営までの新型コロナウイルス等の感染症対策について掲載している。内容としては，1ページ目からの第1章平時からの事前準備，4ページ目からの第2章初動時における感染症対策，7ページ目からの第3章避難生活における感染症対策からなっており，12ページからは，発熱・咳などがある者など専用室レイアウト（例），避難所滞在中の注意点等が記載されている。なお，6月1日暫定版とあるが，令和2年6月1日現在の内容となっており，今後の感染状況等に応じて，随時更新する可能性があるため，ご承知おきいただきたい。

避難所の三密状態を回避するためには，より広い避難スペースを確保する必要があるため，従来の避難スペース以外にも避難者の収容状況に応じて普通教室など早めに開放することとしているところである。また，避難所のインフラ整備，備蓄品については，感染症拡大を受けて，従来の備蓄品に加えて除菌スプレー，ペーパータオル，マスクなど，各避難所に配備した。今後，さらに避難所の規模によって異なってくるが，おおむね1避難所当たりマスクを500枚，消毒液等10本，非接触型体温計2個など，感染症対策用の備蓄品を配備するとともに，非常用発電

機、簡易トイレなどについても、速やかに配備していくこととしている。

また、例年7月に避難所運営体制連絡会等というものを開催してきたが、今年度、ウイルスの感染状況によって、会自体が随分遅れてきたが、7月を目処に、そこで運営体制の確認等も含めて、連絡会等を開催する方向で今、動いているので、その時点で改めて、またこの避難所運営マニュアル等のご説明もさせていただければと思っている。

○議長（小田会長） 続いて、健康福祉課長お願いします。

○佐藤健康福祉課長 貴重なお時間をいただき、お礼申し上げます。

お手元にお配りした「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」と書かれているカードをご覧ください。こちらは健康寿命延伸の取り組みとして、平成28年度から実施している事業である。体重や歩数の測定に取り組むことをきっかけに、健康意識の向上を推進することを目的としている。平成30年度までは、「はかろう体重！大作戦」として、体重測定だけで実施してきたが、この事業をした方々の中から、体重の提出は恥ずかしいといったご意見をいくつかいただいたので、より参加しやすい事業とするため、昨年度から「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」ということでリニューアルした。具体的には、二つの改善を行っている。一つ目は、先ほど言ったとおり、体重の記録のみを対象にしていたものを体重と歩数、どちらの記録でも可能とした。二つ目は30日間連続ということではしていたが、実施期間中、30日分の記録があれば対象。つまり途中で中断しても、また再開できるようにしている。このカードは30日終わったら提出は区役所・出張所の窓口、郵送やファックスに加えて、コミュニティ協議会にもこの配布、回収をお願いしている。おかげさまで昨年度は773名の方からカードを提出いただいた。平成29年度は442名、平成30年は645名だったので、年々伸びている。ありがとうございます。

さらに今年度は、子どもたちとその保護者世代へより一層、健康づくりに関心を持っていただくため、趣旨にご賛同いただいた小林コミュニティ協議会と小林小学校にご協力いただき、モデル的な取り組みを行うこととしている。具体的には、子どもが歩数測定に取り組むのは、実はハードルが高いというご意見をいただいたので、それを受け子ども用の専用カードを新たに作成することを考えている。記載を歩数ではなく、運動に取り組んだ。○、△、×とか、そういった簡素化することを今、考えており、また提出方法だが、各自それぞれ提出いただいていたが、期日を決め、募金やあいさつ運動のように、小学校の玄関前にコミュニティ協議会の保健福祉部会に立っていただき回収。達成賞もそこでお渡ししていただこうかと考えている。

また、当然、期日に提出できない場合もあると思うので、そちらについては学校で回収ができるよう、入れるポストみたいなものも用意しようかと考えており、具体的なやり方について、ご相談をしているところである。こういった取り組みを通じて、子どものころからの望ましい生活習慣、健康づくりのきっかけとしていただくとともに、ご家族も一緒に積極的に取り組んでいただくことを期待している。

このように個人だけではなく、ご家族、さらには地域ぐるみで健康づくりに関心を持っていただき、望ましい生活習慣、ひいては健康寿命の延伸に取り組んでいきたいと思う。皆様と一緒に事業を進めていきたいと考えているので、何卒今後ともよろしくお願いします。

○議長（小田会長） 今、地域総務課、健康福祉課から二つの案件について説明を頂いた。このことについて、ご質問、ご意見があればどうぞ。

○山宮委員 「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」について、今年への対応がどうなるのか非常に心配しており、例年、地域にこのPRパンフレット等が届き、イベントで密集する中で皆さんに参加呼びかけをしてきた。今年は、すべてこの状況だと中止になるだろうと。そうすると人手のあるところではこういった呼びかけの活動ができないということだから、どのようにやればいいのかと今、見ていたのだが、コロナ対応という形で例年とは考え方を異にして活動しなければならぬと思うが、その辺はどのようにお考えだろうか。

○議長（小田会長） 質問の趣旨はお分かりかと思う。佐藤健康福祉課長、何かよい例があればどうぞ。

○佐藤健康福祉課長 なかなかよい例もないが、それこそ夙合戦などでお配りしていたこのカードだが、おっしゃるとおり、なかなかそういったイベントが開催できないということで、我々も苦慮しているところである。ただ、コロナウイルスを心配されるのは当然だが、過剰に恐れるこ

とはないと思っているので、我々のほうでも機会をとらえて、撒けるところは撒いていきたいと思うし、当然、PRも強化して、こういった取り組みがあるのだということも、今後、周知も強化を図っていきたいと考えているので、ぜひまた皆さんのほうでいいアイデアがあれば、ぜひお聞かせ願いたいと思う。ありがとうございます。

○山宮委員 人と人との接触を減らすということが、昨今の課題になっているようだから、どうしても地域で役員が集まってどうするかと相談、活動するとなると、けっこう密接な話し合いをしなければならないという状況になる。活動などという、やはりそれなりの人の集まったところということになるので、今年、どうするかなのだが、人との接触を避けるという部分であれば、何かの折り込みのときにこれを挟めて広くやるとか、人手のかからない方法を考えるべきではないかと思っているが、これは意見なのでよろしく願います。

○議長（小田会長） 中丸委員、保健会としてどのようなアイデアをお持ちか。もしお持ちだったら披瀝をいただく。

○中丸委員 庄瀬地区の保健会では、皆さんにこのカードを配って、委員を通して活動しているかと今は考えているが、総会が開けずまだ決定はしていない。そういった考えを持っている。

○議長（小田会長） 今、庄瀬の保健会の状況をお話いただいたが、ほかに各地域でこれはというお話があればどうぞ。ないようである。ぜひとも新たな工夫をお願いできればと思う。

（3）その他

○議長（小田会長） 続いて、次第第6（3）その他について、事務局からお話いただく。

第1回の南区教育ミーティングについて、鈴木南区教育支援センター所長からお話いただく。

○鈴木南区教育支援センター所長 皆さんのお手元に新教総第186号と書かれた文書がいつているかと思う。例年7月の自治協議会の折に、一緒に区教育ミーティング第1回を開かせていただいていたと聞いているが、今年度、新型コロナウイルス感染症の拡大防止という観点から、第1回の区教育ミーティングは中止ということにさせていただきたいと考えている。なお、第2回については、今後の社会情勢を見ながら、開催の可否や内容について決定し、皆様にお知らせしたいと考えているので、ご了解いただければと思う。よろしく願います。

○登石月潟出張所長 私からは月潟まつりの中止について、皆様にご報告したいと思う。6月27日、28日に開催予定の月潟まつりについては、4月23日に開催された月潟まつり実施協議会で中止と決定した。まつり当日の新型コロナウイルスの感染状況については、4月の段階で予測がつかなかったということもあるが、5月の連休明けから始まる子供山車の製作とか、それに伴う飲食、民謡流しの練習など、感染拡大のリスクを高めるものと判断して、月潟まつりにかかわる者の安全を最優先に決定したものである。また、月潟農村環境改善センターの利用制限で、角兵衛獅子保存会の練習ができなかったことも理由の一つである。このことは新潟日報、南区観光協会のホームページ、区だより、月潟地区の防災行政無線で周知したところである。

○川村味方出張所長 私からも、同じくイベントの中止のお知らせである。今年も7月25日に予定した味方地区ふるさと納涼まつりだが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今ほど、月潟のほうからも説明があったが、同じような理由でやむなく中止の決定になった。なお、準備に時間がかかることから、実行委員役員会では、4月に中止を決定している。4月中に実行委員会の方、コミュニティ協議会を通して味方地区の各家庭へ通知済みである。それから、味方地区においては、6月にも防災行政無線を使って、すべて各家庭にお知らせ済みである。また、日報にも掲載した。まことに残念だが、来年度、これを乗り越え、さらなる盛大なまつりになるよう、実行委員会の役員皆さんが誓って、今回、このような決定をした。

○鈴木地域総務課長補佐 まずは、しろね大凧と歴史の館の展示替えについてお知らせする。お手元の「みなみ風」6月21日号をご覧ください。大凧と歴史の館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館を余儀なくされる中、新型コロナウイルス収束後に来館者に楽しんでもらえるよう、ご覧のような展示替えを行ったところである。あわせて6月1日から売店をリニューアルオープンさせ、第1、第3日曜日には、凧絵師による実演も行っている。そして、この施設をもっと身近に、そして愛着を持ってもらえるよう、新しくオープンした売店の名称と大凧と歴史

の館のキャラクターを募集しているところである。ぜひ皆様からもいいアイデアがあればご応募いただけたら幸いである。

最後に今後の予定だが、7月11日から8月2日までアメリカや中国などの世界の凧展を開催する計画にしている。7月5日号の区だよりでお知らせする予定である。

もう一点、スマホ版のホームページも速やかに開設して、サービス向上に努めていこうという考えを持っているところである。お知らせは以上である。

続いて、みなみ一で地域応援隊について紹介させていただく。

○藤村地域総務課長補佐 お手元の配付資料をご覧ください。みなみ一で地域応援隊の隊員就任についてである。

昨年度南区が新潟市で初めて取り組みを開始したみなみ一で地域応援隊の最初の隊員蛭間さんが就職のため、本年1月末を持って退任し、隊員を再募集していることについて、2月の自治協議会で報告させていただいた。選考を経て、4月1日付で新たな隊員1名を委嘱したという報告である。本日、隊員が会場に来ているので、若干の時間を頂き、委員の皆様へごあいさつさせていただきたいと思う。名前は、前田紗織さん。東京都からの移住である。着任早々、新型コロナウイルス感染症の影響から、当初予定した活動には制約を受けているが、先ほど、五十嵐区長のあいさつの中にもあったとおり、アマビエ凧の挑戦といった明るい活動が新聞やテレビでも報道されたところである。今後もプロフィールにあるこれまでの経験を存分に発揮しながら活動させていただきたいと考えている。地域の皆様からも、前田さんへのご支援、ご協力を賜るようお願い申し上げます。前田紗織さんから一言願います。

○前田紗織氏 改めましてこんにちは。先ほど、ご紹介にあずかった、地域おこし協力隊みなみ一で地域応援隊として4月1日から南区に参った前田です。

お手元のプロフィールにもあるとおり、私自身、旅行会社等の勤務の経験がある。簡単に経歴の紹介だが、出身が新潟市の東区である。高校まで新潟市の東区にいた。そこからこちらの経歴記載のとおり、大学から関東に行き、観光について学んだ。その後、旅行会社に9年間勤務し、この3月末で退職した。その後、4月1日に南区にUターンという形でやってきた。同じ新潟市出身ではあるが、南区に関してはまだまだ勉強中のところがたくさんある。ぜひ機会があれば、たくさん、南区のことを教えていただけると幸いである。

主に活動の内容としては、主に南区のPRを行ったり、旅行会社の経験を生かして何か旅行にまつわること、観光にまつわることなどに関わったところから南区を盛り上げていきたいと思っている。

簡単にアマビエ凧の取り組みの動画を作成してきたので、二、三分ほどの動画になるが、ご覧いただければと思う。6月4日の凧合戦の初日に当たる日に、カルチャーセンターのほうでアマビエ凧という6畳の凧を揚げた。私自身、凧合戦を見たことがなく、合戦とはどういうものなのかということも凧合戦協会の方に教わり、指導いただきながら、この6畳のアマビエ凧作成と凧揚げを行った。当日は、とても私一人では6畳の凧を揚げられないので、高校生の皆さんにも協力いただき、凧揚げを行った。当日はメディアの方もたくさん注目していただき、凧揚げの瞬間がT e N Yの新潟一番の生放送になった。6畳凧にゴープロのカメラをつけて、凧からの眺めも撮影してみた。当日は、風が少し弱かったところもあり、何度か凧を揚げて、無事、6畳のアマビエ凧を揚げて終了。地域の方々や、凧合戦協会の方等にも協力いただいて、無事、このプロジェクトが終わった。

今回は、凧合戦というテーマのもと、PRを行ったが、凧合戦以外にもたくさん南区の魅力があると思う。私がまだまだ知らない魅力がたくさんあると思うので、これからたくさん勉強していきたいと思う。コロナの影響で、いろいろな行事が中止となり暗い話題が多いが、何とかこういった活動で明るく楽しいものを皆様にも提供できるように頑張っていく。また、動画という形で凧合戦を盛り上げる一つのコンテンツになれたらということもあるし、何か盛り上げるという形でご協力、興味関心等を持っていただければいいと思う。まだ、勉強中のところもたくさんあるが、ぜひこれからよろしく願います。ちなみに凧合戦の動画に関しては、今のものは未公開映像だが、本番の本アップというものがユーチューブのしろねこチャンネルというチャンネルでアップされているので、ぜひご興味あればご覧いただきたい

い。私から以上である。どうぞよろしく願います。

○議長（小田会長） 前田さん、活躍を期待しているので頑張ってください。願います。さまざまな報告を頂いた。ほかに委員の皆様方から報告、あるいはご連絡があればどうぞ遠慮なく発言いただきたい。

○小林委員 確認だが、感染症対策というのは、今、自治協議会のメンバーは見たが、各コミュニティ協議会に配布はしてあるのだろうか。

○水野副区長 今現在、まだ配布していないが、今後、避難所運営体制連絡会等を開催していくので、その前に配布するか、その場で連絡会議のときに配布したうえで説明するか。今後、検討の上、進めていきたいと思う。

○小林委員 せっかく6月1日で暫定が出ているので、まずは各コミュニティ協議会に渡したほうがいいと私は思うがいかがか。

○水野副区長 この避難所マニュアルのほうだが、ホームページもすでに公開になっているので、今、ご指摘にあったとおり、早急に配布をさせていただこうかと思う。（実際は、6月2日（火）に各コミュニティ協議会に配布済。）

○小林委員 ホームページにあがっていても、見にいかなければ取れない状態というのはだめである。ホームページに上がっていったって、見にいかなければ取れないものというのは、何も意味がないので、まずはせっかくできたマニュアルだから、これは各コミュニティ協議会のほうにデータでけっこうなので、配布をしていただき、各コミュニティ協議会に自主防災会があるので、そこで周知徹底をさせていただくような感じにしておいたほうが、いざというときはいいのではないか。臼井のほうで、来月には自主防災会の会議をする予定なので、できればその前までにデータを送っていただければ、各自治会の自主防災会の方に、資料としては配布できるので、持っているもっていないのでは違うから、ぜひデータでけっこうなので各コミュニティ協議会に送っていただきたいと思う。

○水野副区長 データのほうであれば、すぐにお送りできるので、本日中に各コミュニティ協議会あてにお送りさせていただく。

○議長（小田会長） 課長、ちなみに南区防災士会の会合は開催されただろう。避難所運営の会議の予定はいつごろを予定されているか。

○水野副区長 運営連絡会議のほうは、例年だと講師等を招いて、講演会という形でやっていたかと思う。その関係で、今現在、調整中なのだが、秋以降と考えていたが、ただ、これから大雨等の時期に入ってくるので、できるだけ前倒した中で、7月中くらいからできるような体制を取ればと考えているところである。

○議長（小田会長） すでに各地域の自主防災会、あるいはコミュニティの中では、今、お示しを頂いた資料4の明確な資料に基づかなくても、さまざまところで新型コロナウイルス等の感染症対策のための避難所の運営が叫ばれているので、これをベースに、すでに役員会を開いているところも多いかと思う。ぜひとも、小林委員が今、指摘をされたように、なるべく早く各地域に徹底できればと思うので、資料の配布をお願いします。

○大那委員 今回の新型コロナウイルスで、白根商工会としてもいろいろなイベントが中止されているところで、活躍ができないわけである。先日、新しい不要のマスクがあれば、ぜひ皆さんからご寄附いただきたいということで、区役所と白根商工会と学習館、味方商工会、月潟商工会と特別な箱を設置した。段ボールの箱は、段ボール会社の社長から寄附していただき、そのマスクを社会福祉協議会に持っていき、活用していただきたいという計画をしている。もし、家庭で不要な新品のマスクがあれば、ご協力をよろしく願います。

○議長（小田会長） 鈴木委員、地域においてはアクションプランの検討や何かもようやく動き出したようだが、鈴木委員のほうから連絡はないだろうか。

○鈴木委員 今ほど、大那委員からもマスクの寄附ということであったが、社会福祉協議会でも、寄附を受け付けているので、味方デイサービス、月潟デイサービスでも受け付けているので、あわせてよろしく願いたい。私からは、地域のお茶の間活動で、5月末までどちらのお茶の間活動においても、自粛をしていただいていた。6月から解除というところで、運営をしていただいている皆様方も、いろいろな知恵を絞ったり、地域の茶の間の運営ガイドラインが示されてい

る中で、精いっぱい、自分たちの中から感染者を出さないように、また対策をしてということでやっておられている。お茶の間によっては、まだ安全に対して不安なところがあるということで、8月いっぱいまで休むとか、そういったところもあるが、地域の皆様方も、ぜひ気にかけていただけたらと考えている。アクションプランについてということだが、今日、午前中、推進委員会があったかと思うが、それについては、私は、会議のほうには、メンバーにはなっていないので詳細についてはまだ聞いていないが、今の地域福祉活動計画、地区ごとに計画をされている計画については、今年度末で一旦、終了となる。第3次の計画を今年度中に地区におかれて検討されるという中で、その中においては、支え合いのしくみづくりについても計画が盛り込まれていくような形をお願いさせていただいているところだと思うので、引き続き、地区におかれては、支え合いのしくみづくり推進員、一緒になって考えて取り組んでまいりたいと思うので、どうぞよろしくお願ひしたいと思う。

○議長（小田会長） ほかにあれば発言いただきたい。ないようである。

4 次回全体会の日程について

○議長（小田会長） 次回の会議の日程についてご協議していただく。毎月最終水曜日ということなので、7月は7月29日である。したがって、7月29日（水）午後2時から南区役所当講堂で開催したいと思うので、よろしいだろうか。

冒頭、申し上げたように、4か月、この会議の開催が遅れてきた。当然、さまざまな地域課題、新潟市の課題も遅れ遅れになっている。来月からは、皆さん方からの熱心な議論をお願いしなければいけない案件が出そろおうかと思う。事務局からも、十分検討いただき、私どもに提案、説明を頂きたいと思っている。次回の会議を7月29日（水）開催ということで、本日の会議を閉じたいと思う。ご協力いただき、スムーズに進んだことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

5 閉会

（午後3時20分）